

Jupiter

DIN 18650:2005規格によるスライドドア 使用の為の設計サポートツール

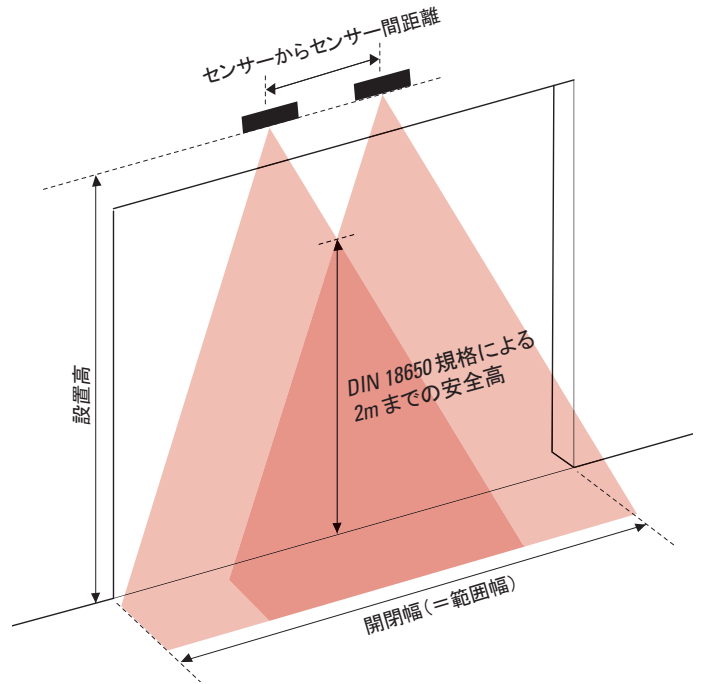
解説

存在センサーがドア端部全体の動きを連続的にモニターしていたら、自動スライドドアの危険なエリアは DIN 18650 規格により保護されています。Jupiterのセンサーを使用することにより、存在検知器の検知範囲は少なくとも全体のドアの開閉幅を超えて伸びることになります。

加えて標準規格は、メインの閉口部端が反対の端に当たるエリアは、少なくとも床上 2m までの高さがモニターされていることを要求します。

この設計サポートツールは、特に幅広ドアに対して Jupiter の DIN 18650 規格の特有な要求を容易に満たすことが出来ます。この資料は操作説明書に変わるものではありません。

状況



手順

1. センサーの設置高を決定します。(設計一覧表 1)
2. その設置高で、一つのセンサーによる開閉ドア幅をモニターすることは可能ですか？(列 2)
3. もし可能でなければ、2 つ及び 3 つのセンサーによるモニターは可能ですか？(列 3 及び 5)
4. 2 つ及び 3 つのセンサーを使用するとき、
 - a) 一つ目のセンサーから次のセンサーまでの距離は維持されていなければならない(列 4 及び 6)、そして
 - b) 違うユニット位置は、お互いが影響し合っていないような範囲にセンサーが設置されていなければなりません (even-odd) (取り扱い説明書 Jupiter 5.4 章を参照下さい)

設計一覧表 (左から右に読んで下さい。全ての寸法単位はメートル (m) です)

設置高	最大開閉幅・範囲幅 (センサー1つ)	最大開閉幅・範囲幅 (センサー2つ)	2つのセンサー間距離	最大開閉幅・範囲幅 (センサー3つ)	3つのセンサー間距離
2.0	2.1	-	-	6.3	2.1
2.1	2.2	2.3	0.1*	6.6	2.2
2.2	2.3	2.5	0.2*	6.9	2.3
2.3	2.4	2.7	0.3	7.2	2.4
2.4	2.5	2.9	0.4	7.5	2.5
2.5	2.6	3.1	0.5	7.8	2.6
2.6	2.7	3.3	0.6	8.1	2.7
2.7	2.8	3.5	0.7	8.4	2.8
2.8	2.9	3.7	0.8	8.7	2.9
2.9	3.0	3.9	0.9	9.0	3.0
3.0	3.1	4.1	1.0	9.3	3.1

*理論上数値: Jupiterケース幅=250mm, 互いのセンサーは可能な限り近くに設置する(調整)

お問合せ先

Bircher Asia Pacific Sdn. Bhd.
 (Co. Reg. No : 260319-T)
 No. 3A, Jalan Dewani 1/1
 Taman Perindustrian Dewani
 81100 Johor Bahru
 Johor, Malaysia
 Phone ++60 7 276 18 10
 Fax ++60 7 276 18 11
 www.bircher-reglomat.com.my
 info@bircher-reglomat.com.my

注意:

当社製品に関する技術データおよび推奨は経験に基づくもので、使用者の参考資料として記載されています。当パンフレットに記載された詳細やデータは製品の特性を保証するものではありません。これは製品の特性を書面で確認したものや個別の製品情報の確約に相当するものではありません。製品の改良に伴う技術上の変更の可能性がります。